

平成4年度 和歌山県文化功労賞

こ いけ よう いち
小 池 洋 一

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：茨城県北相馬郡利根町

生 年：大正8年

◎業績及び経歴

京都大学文学部史学科(地理学専攻)を卒業、昭和59年に長年教授を務めた和歌山大学を退官、名誉教授となった。続いて就任した鳴門教育大学教授も平成元年退官し名誉教授となって、現在は高野山大学教授として活躍している。

大学では一貫して地理学の研究教育に携わってきたが、とくにこれまで方法論の確立していなかった地理学における観光の研究に専念し「観光地理学」の草分けとして、本年7月まで日本観光学会会長をつとめ、日本における観光学の発展に貢献した。

また昭和54年には「和歌山地理学会」を創立し、初代会長として機関紙「和歌山地理」の発行や研究会の開催を通じ、県内における地理学研究者の育成に尽力されている。

この間、専門分野の研究とも関係のある都市計画や環境保全をはじめ、県等の各種審議会等に参画を続けられているところである。

■現在

和歌山県都市計画地方審議会会長
和歌山社会経済研究所理事兼研究委員
和歌山県自然環境保全審議会自然公園部会長
和歌山文化財研究会副会長
和歌山県文化財センター評議員
和歌山県いきいき長寿センター理事
紀伊半島観光立県推進会議委員
日本観光学会名誉会長
田辺市史編纂委員

■主な著書

「歴史地理・郷土地理」(共著)
「近畿の観光地理」(共著)
「熊野枯木灘自然公園学術調査報告」(共著)
「吉野熊野国立公園学術調査報告」(共著)
「和歌山県の地理」(編著)
「観光学概論」(編著)